

企画提案書（業務に対する基本姿勢）

1 MINATOまちなかコンサートを実施するに当たり、以下の（１）～（２）の各項目について、基本的な姿勢や考え方を述べてください。【A4サイズ2枚・両面4ページを上限】

（１）本業務の目的、内容をどのように理解しているか。

1 基本的な考え方

本事業は、「港区文化芸術振興プラン」の前期から掲げられた将来像である「多様な人と文化が共生し 文化芸術を通じて皆の幸せを目指す 世界に開かれた『文化の港』の実現に向けた重要な事業であると考えます。

また、本事業は、子どもから若者、子育て世代、高齢者まで、年齢・障がいの有無・国籍等に関わらず、あらゆる区民が文化芸術に触れることのできる機会を創出するという、いわば港区内の文化芸術の裾野を広げる中心的な事業です。多様な区民が本事業を通じて「交流」し、多彩な文化芸術に触れることで「共生」社会の実現の契機となり、さらには、鑑賞のみならず、主体的に文化芸術に携わる「創造性」豊かな港区となるために取り組みます。

2 実施方針

～文化芸術を通して区民の「交流」と「共生」を促します～

文化芸術の力で“多様な区民”が“多様な区内施設”での公演でつながり、
「文化の港」の実現に貢献します

活動 指針 ①

～「区民の関心」をひきだします～

文化芸術の接点を増やし、区民が文化芸術に興味を持つきっかけを創出します。そのきっかけを基にさらに文化芸術に「関わりたい」、もっと「鑑賞したい」という気持ちを醸成し、事業ににぎわいをうみだします。

つくる

活動 指針 ②

～「多様な交流」をうみだします～

今まで接点がありませんだった区民同士を公演を通してつなぎ、新たな交流をうみだすことによって、文化芸術を通して、区民同士がつながるだけでなく、相互に理解・尊重し合う土壌を醸成します。

まじわる

活動 指針 ③

～「個々の楽しみ方」によりそいます～

文化芸術に触れたくても機会の少ない方に、出張コンサートやワークショップなどを通じて文化芸術に触れる機会をつくり、個々の楽しみ方があってよいことを提示します。個々の状況に配慮した事業運営で鑑賞者の満足を引き出します。

よりそう

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（業務に対する基本姿勢）

3 各業務の役割と効果

『文化の港』の実現には、あらゆる区民が心豊かで潤いのある生活ができることが必要不可欠です。文化芸術との接点はその重要な役割を担うと考え、どんな境遇にあらうと、区民が「いつも身近に文化芸術が存在している」ことを実感でき、能動的にその機会にアクセスしたいと思う気持ちを醸成するものです。

そのため、3つの事業の役割と効果を明確にすることで、だれもが取り残されることなく文化芸術を享受できる環境を整えます。

「ロビーコンサート」

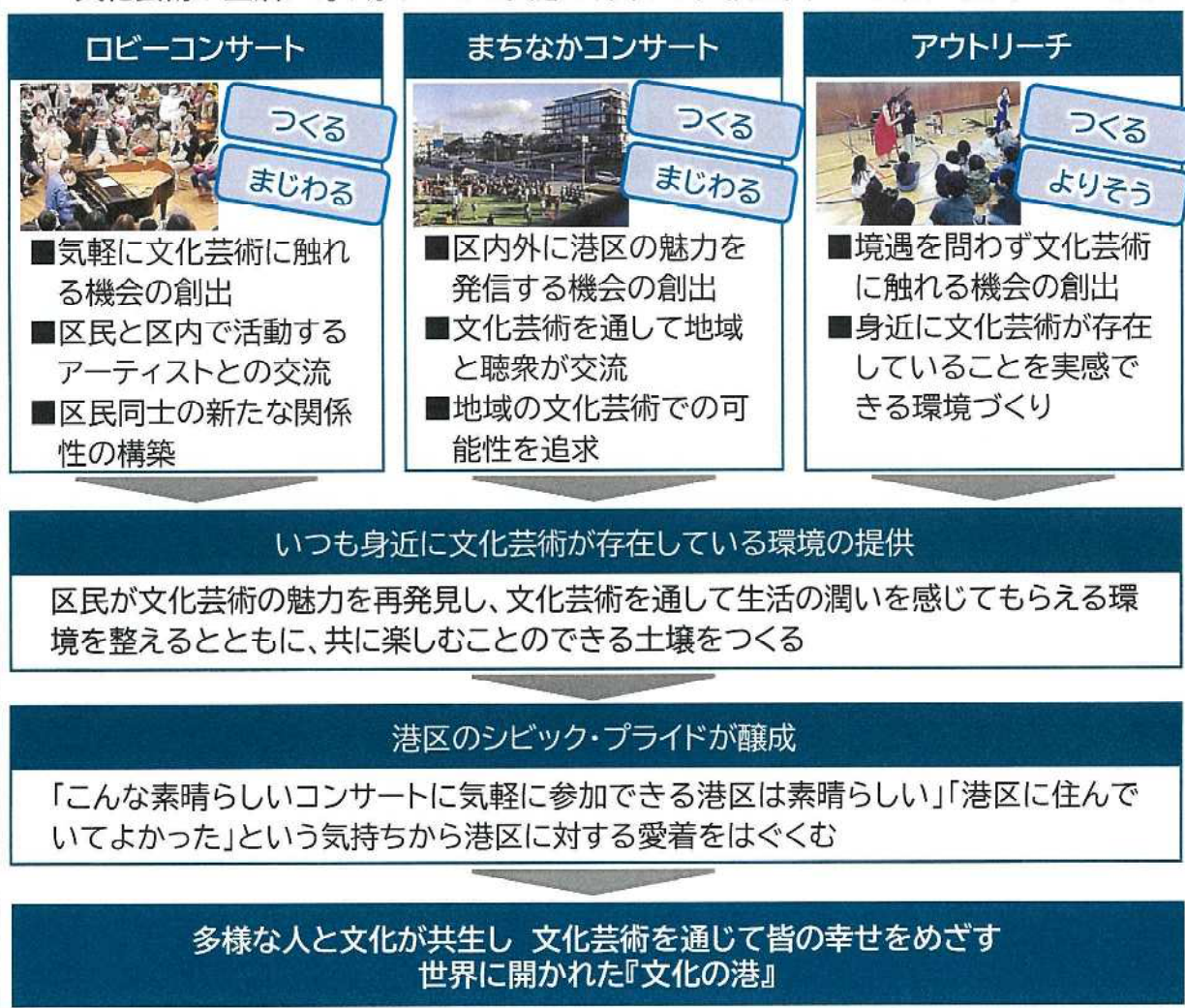
区民が気軽に文化芸術に触れる機会であると共に、区民アーティストの活動の披露の場としての役割も担う、本事業の基幹的事業。

「まちなかコンサート」

港区の施設や観光資源の魅力を区内外に発信し、地域と文化芸術を融合する新しい事業として、次代を拓く役割を担う。

「アウトリーチ」

文化芸術が生活に寄り添うことを実感し、更なる直接鑑賞への意欲を創出させる事業。



※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（業務に対する基本姿勢）

1 MINATOまちなかコンサートを実施するに当たり、以下の（１）～（２）の各項目について、基本的な姿勢や考え方を述べてください。【A4サイズ2枚・両面4ページを上限】

（２）港区の文化芸術の現状や課題をどのように捉えているか。また、区民等に対しての文化芸術への興味関心を高めるためにはどのような取組が必要か。全体的なコンセプトを踏まえ考え方を記述してください。

1 国や東京都の動向

国では、「文化芸術基本法」の規定に基づく「文化芸術推進基本計画（第1期）」を平成30（2018）年に策定。さらに、令和5（2023）年に第2期計画が策定され、文化・芸術の在り方として「本質的価値」の創造・深化を図るとともに、デジタル推進や文化芸術を通じた多様性ある社会の形成などを重点取り組みとしたほか、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」などで共生社会の実現のための機会や創造の拡大、交流の促進が規定されました。

また東京都では、令和4（2022）年に「東京文化戦略2030」が策定され、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え、2040年代に目指すべき東京の姿と、その将来像を実現するための方向性や重点的に取り組む施策が提示されました。

文化芸術は、境遇を問わず、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであり、人と人をつなぎ付け、相互に理解し、尊重し合う土壌を提供するものであると考えます。以上のことを本業務の背景として事業を実施します。

2 港区の現状

港区は、平成18（2006）年に制定された「港区文化芸術振興条例」により、誰もが文化芸術に触れる機会の創出や、区のすべての施策に文化芸術振興の視点を盛り込むなど、共生社会の実現に文化芸術が果たす役割と責任を担っています。

その結果、令和4（2022）年に実施された「港区文化芸術実態調査」においても、直接鑑賞率がすべての項目で全国の倍近いポイントになっており、非常に高い積極性や関心度が見て取れます。

一方、新型コロナウイルスの蔓延を受け、区民の直接鑑賞の頻度は減少。約6割強の区民の鑑賞機会が減少していることがわかります。

この減少傾向は、全国的にも徐々に回復しているものの、HPやSNSなどインターネットでも気軽に文化芸術を鑑賞できる機会が増えたことで、直接鑑賞により文化芸術の素晴らしさを最も感じることでできる機会の減少につながっているのも現状です。



図1: 港区と全国の直接鑑賞の比較
＜出展 港区文化芸術実態調査＞

問 コロナ前と比べて、この1年間に、文化芸術イベントを直接鑑賞した頻度の増減についてお聞かせください。（○は1つ）

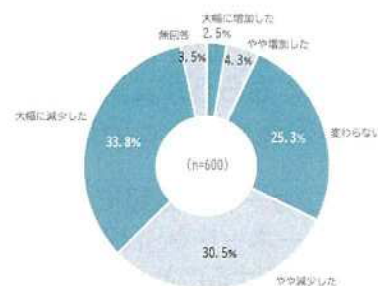


図2: コロナ前後の直接鑑賞の増減
＜出展 港区文化芸術実態調査＞

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（業務に対する基本姿勢）

3 港区の課題

さらに、「港区文化芸術実態調査」の結果にて、港区の文化芸術環境に対して、育児や介護などで時間の確保ができないなどの理由から、「鑑賞したくてもできない」方が「そもそも興味の無い」という方よりも多く、機会の創出や拡充が喫緊の課題と認識します。子どもや要介護者の機会の損失だけでなく、保護者や介護に従事する家族や職員も対象者であると考えたとアンケート結果以上の数に上ると推察できます。

また、港区には公共・民間問わず、劇場やホール、美術館、博物館といった文化芸術を鑑賞することができる場所が多く立地しているにも関わらず、興味関心を寄せることができていないことや、そもそも「環境が充実していない」と考えている区民が多くいることも課題です。

港区の文化芸術に少しでも多くの方に触れていただき、その発展に欠かすことのできない「裾野の拡大」を行うことも、今後の文化振興のために必要不可欠な課題と認識します。

問 文化芸術施設やイベント会場で鑑賞しなかった理由をお知らせください。
(〇は3つまで)

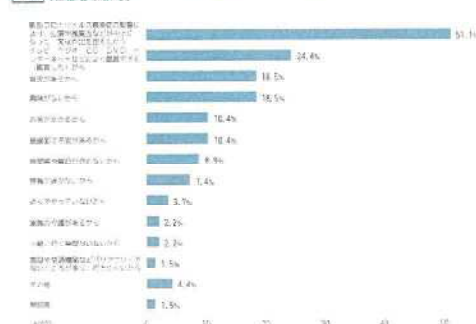


図3:会場で直接鑑賞しなかった理由
＜出展 港区文化芸術実態調査＞

問 区内の文化芸術環境（鑑賞・参加・創作機会など）は充実していると思いますか。
(〇は1つ)

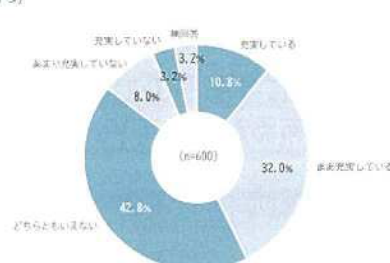


図4:港区の文化芸術環境の充実度
＜出展 港区文化芸術実態調査＞

4 課題に対する取り組み

＜鑑賞したくてもできない区民への対応＞

鑑賞に障壁のある方々に関しては固定概念が、鑑賞の機会そのものを阻害している可能性があります。ファミリー向けの内容で、子どもや要介護者が楽しんでいる場面に立ち会い、その場を共有したすべての人が、「やはり文化芸術はすばらしい」、「頑張って時間をつくり、鑑賞したい」という思いを抱き、障壁をなくしていく活動が必要だと考えます。

＜裾野の拡大＞

興味のない人たちにいかに興味を持ってもらい、文化芸術に触れてもらうかに関して、鍵を握るのが「情報」と「興味のある分野との掛け合わせ」だと考えます。

興味のあるコンサートや気軽に参加できるイベントの情報が得られていないという可能性もあります。インターネットやSNSのデジタル、チラシや“広報みなと”などのアナログを駆使し、情報を確実に届けること、また、文化芸術以外で興味のある分野との掛け合わせで事業を企画することで、興味のない層から鑑賞したいと思える「鑑賞初心者」へ引き上げる活動が必要だと考えます。

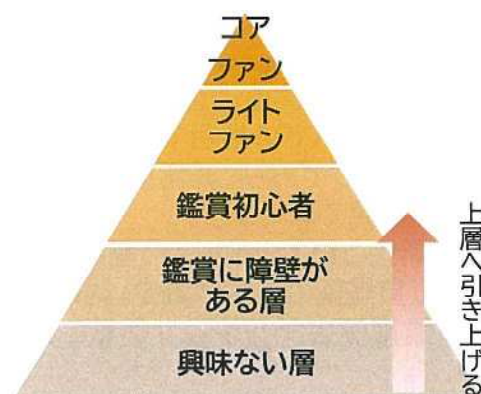


図5:鑑賞のファンを形成するピラミッド

企画提案書（事業の企画・実施）

2 MINATOまちなかコンサートを実施するに当たり、以下の（１）～（２）の各項目について、具体的に述べてください。【A4サイズ4枚・両面8ページを上限】

- （１）以下の事業内容について、詳細を企画提案してください。（仕様書 項番5参照）
- （ア）ロビーコンサートの運営（複数提案可）
 - （イ）まちなかコンサートの企画・運営・実施スケジュール（複数提案可）
 - （ウ）アウトリーチ事業の企画・運営・実施スケジュール（複数提案可）
 - （エ）魅力的な事業となるための工夫や、貴社（者）の強みを事業に生かす上でのアイデア
- ※なお（イ）、（ウ）の提案に当たっては、以下の項目について必ず記述してください。
- ①タイトル ②テーマ ③対象 ④内容（参加費の徴収をする場合はその旨も記載すること）
 - ⑤狙い ⑥事業の目的との結びつき（仕様書 項番5 各業務参照） ⑦期待できる効果
- ※（エ）については、自由に記述してください。

(ア)ロビーコンサートの運営

1 基本的な考え方

区役所のロビーで実施されているロビーコンサートは、区民にとって一番身近であり、且つ、本事業の根幹をなす事業と捉えます。年5回のコンサートを通じて、区役所や周辺の用事に合わせて、また、楽しみにされているリピーター等に向けて、気軽に文化芸術に触れることのできる機会として。また、港区を拠点に活動するアーティストたちの発表機会の創出にも寄与しています。



さらなる充実したロビーコンサートとするために、「まじわる(交流)」の要素を付加し、区民とアーティスト、区民同士が触れ合う「区民による区民のためのロビーコンサート」の運営を実施します。

2 運営案

さらなる運営の充実のため、以下の通りご提案します。

運営案	内 容
司会者の擁立	・ コンサートで区民同士の交流を促すため、区民による司会者を擁立し進行します。 司会者例：保育園児、小学生、留学生など
保育園や介護施設の招待	・ 無料のコンサートではありますが、地域の方を招待することで、区民同士の交流の場として、触れ合う時間を創出します。
交流タイムの創設	・ 出演者と区民、区民同士の交流できる時間（コーナー）を用意します（じゃんけん大会などの実施）。
付随イベントの実施	・ 議会などの区役所内ツアーの同時開催します。
開催曜日の検討	・ 鑑賞者の増を目指し、一部を土日に開催します。
リレーコンサート	・ 5回のコンサートに関連性を持たせるため、関連曲などでリレーすることで1年のテーマ性を持たせます。 （作曲家や港区ゆかりの曲の採用など）
コラボレーション	・ アーティスト同士のコラボを実施し、新たな可能性やアーティストの出演機会の増を促します。
区民直接参加企画	・ ストリートピアノで誰でも弾けるような回を創出し、誰もが気軽に参加できる環境を整えます。

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書(事業の企画・実施)

(イ) まちなかコンサートの企画・運営・実施スケジュール

1 基本的な考え方

まちなかコンサートは、本事業の中でも規模が大きく、区内の様々な施設を活用して実施することで、文化芸術を通して港区のプレゼンスをあげるという象徴的なコンサートであると考えます。

区民にとっては「まちの誇り」であり、アーティストにとっては「ステイタス」にもなるだけでなく、文化芸術を通して、施設の賑わいや施設周辺の地域連携も可能にし、港区内の文化芸術における可能性を広げる事業と位置づけ、港区内の様々な資源(リソース)を活用したコンサートを企画します。また、アーカイブ配信を実施し、より多くの方の鑑賞機会を創出します。



2 運営・実施スケジュール

港区のまちなかで実施されるコンサートとして、年3回のコンサートを楽しみに、そして、港区内の魅力を最大限伝えるために、「四季」を意識して実施をします。

夏・秋・冬の3つの季節に開催することで、屋内実施でも屋外実施でも、会場までの道中や屋外会場の良さを季節とともに感じていただける演出を行います。

また、スピーディに動画を編集し、配信をすることで、次のコンサートへ行きたいという気持ちも醸成します。



【実施スケジュール】

実施スケジュールは以下の通り実施いたします。

	企画①	企画②	企画③	
4月	出演者選定	キックオフ		
5月	出演者決定			
6月	広報・宣伝	出演者選定		
7月		出演者決定		
8月	公演実施	広報・宣伝		
9月	配信			出演者選定
10月			出演者決定	
11月		公演実施	広報・宣伝	
12月		配信		
1月				
2月			公演実施	
3月			配信	

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（事業の企画・実施）

3 企画案

企画案を下記の通り、ご提案いたします。なお、実際の実施本数は、見積書記載の本数です。また、関係先とは未調整のため契約開始後に開始いたします。

企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
①音楽がいざなう 「世界旅行」コンサート・シリーズ	国際交流	区内外の方	対象国大使館など
内 容	狙 い		
区内にある大使館の協力を得て、その国にまつわるプログラムを構成。アメリカ、イタリアなどなじみの国から順次始める	国際色豊かな港区をアピールするとともに、国際交流を促し、多様性を文化芸術を通して体感する		
事業の目的との結びつき	期待できる効果		
文化芸術以外で区民が興味をもつ分野や港区特有の特長を文化芸術と掛け合わせ、認知度の向上を図る	大使館との結びつきを強固にするだけでなく、各国の文化を区民をはじめ区外の方にも知っていただき、国際色豊かな港区をアピールできる		
企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
②船上コンサート	港の魅力発信	区内外の方	水上バス・屋形船など
内 容	狙 い		
港の街「港区」を象徴するコンサートとして、船上でのコンサートを開催。お客様が陸上でステージのみ船上など演出も検討	文化芸術を関連させながら、港区の魅力に多角的に迫る		
事業の目的との結びつき	期待できる効果		
文化芸術以外で区民が興味をもつ分野や港区特有の特長を文化芸術と掛け合わせ、認知度の向上を図る	観光資源としての船を活用することで、港区の魅力を区内外に発信することができ、港のある街の観光発信も可能		
企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
③港区の新しい魅力発信 コンサート	新規施設	区民・区外	令和7年度に開館する 新規施設（民間含む）
内 容	狙 い		
区内に新しくオープンする施設のプレコンサートとして実施。港区の新たな魅力となる施設を紹介するコンサート	発展し続ける港区を地域や施設と共に連携し、一体となって文化芸術を盛り上げる機運を醸成する（みなと芸術センターとの連携も図る）		
事業の目的との結びつき	期待できる効果		
いつも身近に文化芸術があることを、これから身近な施設となる場所を活用し、認知度の向上を図る	新しい施設、新しいコンサートを融合させることでお互いのプレゼンスを向上することができ、未来にわたる地域連携を生むことができる		
企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
④みなと軽トラピアノコンサート	にぎわい	区民	公園、商店街など
内 容	狙 い		
軽トラに載せたピアノが区内を走り、区内の各施設や商店街などでストリートピアノのコンサートを実施する	プロのジャズミュージシャンなどを起用したコンサートだけでなく、区民とのセッションを実施して音楽による交流を図る		
事業の目的との結びつき	期待できる効果		
意外性や話題性による、区民の新しい文化芸術への興味関心や関わり方の多様性を図る	ストリートピアノの要素を組み込むことで、鑑賞だけでなく参加型のコンサートとして、区民の支持を得ることができる		

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（事業の企画・実施）

(ウ)アウトリーチ事業の企画・運営・実施スケジュール

1 基本的な考え方

港区民に実施したアンケート結果からも「育児」や「介護」のために文化芸術の鑑賞が損失していることが港区の課題としても上げられます【様式5-1(P3～4)】。「時間がない」というだけでなく、「子どもや介護対象者を置いて会場に行くことができない。」という理由も大きな障壁になっているものと考えられます。

アーティスト自らが、そのような方々のところに出向き、出張コンサートやワークショップを実施することで、区民に寄り添い、文化芸術がそばで支える力になることを伝える機会を目指し、事業を実施します。

また、保育園等に通う子どもや、介護施設の入居・利用者を対象にする事業が多い中、保護者や家族が同じ時を共有し、鑑賞のたのしみを分かち合うことを基本の目的とします。



2 運営・実施スケジュール

出張コンサート3回、ワークショップ3回を基本の回数とします。また、3回ごとに1組のアーティストに出演を依頼することで、3回の実施に対して、フィードバックを行いながら質の向上を図ると共に、出演料も3回合わせての支払いとすることで、コストを抑える試みも実施します。



【実施スケジュール(案)】

実施スケジュールは以下の通り実施いたします。

	出張コンサート	ワークショップ
4月	キックオフ	
5月	実施会場選定	
6月	出演者決定	
7月	会場との調整 対象者への告知	
8月		
9月	コンサート	実施会場選定
10月		講師決定
11月		会場との調整 対象者への告知
12月		
1月		ワークショップ
2月		
3月		

※イメージ・写真の使用等は自由とします。
※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（事業の企画・実施）

3 企画案

企画案を下記の通り、ご提案いたします。なお、実際の実施本数は、見積書記載の本数です。また、関係先とは未調整のため契約開始後に開始いたします。

企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
①ファースト・ミート・ジャズ	ジャズ	子どもと保護者（保育士）	保育園や幼稚園
内 容		狙 い	
ブルーノート・ジャパン等と連携し、ミニジャズライブを開催。帰宅時に思わず口ずさんでしまうような名曲を選曲		気軽に音楽に触れる機会を提供	
事業の目的との結びつき		期待できる効果	
気軽に参加でき、そして文化芸術の鑑賞の楽しみを共有する		港区内の文化芸術を推進する企業や団体と連携することで、より地域に根差した発信をするだけでなく、地域のつながりを強固にする	
企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
②音楽朗読劇 3匹の子ぶた??	文化融合	子どもと保護者（保育士）	保育園や幼稚園
内 容		狙 い	
中嶋朋子さんと加藤昌則さんによる即興音楽で楽しむ朗読劇。アウトリーチ事業特別編として実施。ワークショップの実施も可能		プロの俳優、音楽家が誰もが知る内容を現代風にアレンジし創造力を掻き立て、文化芸術により興味を持ってもらう	
事業の目的との結びつき		期待できる効果	
興味関心をひき、文化芸術の入口として、身近なところから触れる		単なる音楽だけでなく、文学と音楽を融合することで、新たな創造性を喚起すると共に、音楽に興味がなくても多様な機会を創出できる	
企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
③世界の楽器に触れるワークショップ	国際交流	保育・介護	保育園・介護施設
内 容		狙 い	
区内大使館の協力を得て、民族楽器やその国の楽器を借用して実施する体験ワークショップ。体験者のミニ発表会の実施も可能		言葉が通じなくても心を通わせ、同じ時を共有できる楽器を通して、国際交流と港区ならではの地域交流を実施する	
事業の目的との結びつき		期待できる効果	
港区の特長を生かし、港区ならではの交流をはかるとともに話題性から積極参加を促す		大使館と地域の施設とが協力関係を築くことができ、地域のつながりの強化と多様性の理解につなげる	
企画案（タイトル）	テーマ	対象	実施会場（想定）
④日本の魅力再発見ワークショップ	国際交流	保育・介護・留学生	保育園・介護施設
内 容		狙 い	
区内の和太鼓保存会等の団体に協力を仰ぎ、日本・和太鼓を題材に、演奏を体験するワークショップ。留学生にも参加してもらい交流の場の提供も実施する		国際色豊かな港区だからこそ、日本人のアイデンティティを再認識できるプログラムを実施するとともに国際交流も図る	
事業の目的との結びつき		期待できる効果	
身近なテーマから港区の特長を知り参画する機会を創出する		日本の伝統芸術を知ることによって国際交流のきっかけを作ることができる	

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書（事業の企画・実施）

(エ)魅力的な事業となるための工夫や、貴社(者)の強みを事業に生かす上でのアイディア

1 事業の関連性を生み出す仕組みづくり

本事業が魅力的で継続した事業としていくために、1つ1つの公演が単発で完結するものでなく、「次はどんな感じになるだろう?」「同じ曲でも別の団体が演奏するとどうなるだろう?」などの期待感を持っていただくことが重要だと考えます。そのために、1つの事業内で、作曲家や港区ゆかりの曲を必ず入れる「テーマ」性や、次のコンサートにつなげる「リレー」性などの仕組みを導入します。



2 港区の地域資源を文化芸術を媒介に活用

港区内には多くの地域資源や観光資源があふれています。人と人、文化と人、文化と文化をつないできた経験を活かし、高輪ゲートウェイなど新規施設と連携した「施設×文化芸術」を演出します。

開館を控えているみなと芸術センターの指定管理予定者と連携する「港区×文化芸術」、また、サントリーホールやサントリー美術館、ブルーノート東京といった港区内に事務所を構える音楽事務所などとの連携「文化芸術×文化芸術」、地域の商店街や町内会、商工会議所、大学などと連携した「地域×文化芸術」など、地域の資源をフルに活用し事業を推進します。



3 鑑賞者の視点を企画・運営に反映

弊社は、全国の公共文化芸術施設の指定管理者として、各地域の皆様の思いを文化芸術という形を通して、具現化し、各地域の皆様と一緒に文化の価値を高めてまいりました。

また、年間1万公演のコンサートのご案内業務を通して、鑑賞者の視点に立ち、それぞれの思いや鑑賞の楽しみ方に寄り添ったサービスを日々続けております。

この経験を当事業に生かし、「参加しやすさ・親しみやすさ」を常に追求するだけでなく、「ハードルは低いが本物の文化芸術」を届けることをいつも念頭におき、企画・運営を実施します。



※イメージ・写真の使用等は自由とします。
※文字のポイント数は11pt以上とします。

企画提案書(事業の企画・実施)

2 MINATOまちなかコンサートを実施するに当たり、以下の(1)～(2)の各項目について、具体的に述べてください。【A4サイズ4枚・両面8ページを上限】

(2) 本事業に対し、より多くの人が興味・関心を持つためにどのように発信及びPRをするか提案してください。また、まちなかコンサートについては、コンサートの様子を効果的に発信する方法について記述してください。

1 基本的な考え方

SNSなどのインターネットを中心に情報を確実に届ける広報の仕組みづくり

本事業の各公演で、多くの鑑賞者にご満足いただくためには、公演に興味を持ち、会場に足を運んでもらうことがなければ始まりません。

その役目を担う広報業務は非常に重要な業務であると認識しています。

「港区文化芸術実態調査」では、区民の一番の情報源は、「インターネット」「SNS」が第1位と第2位を占め、特に「SNS」に関しては、令和元年と令和4年の調査を比べても10ポイントの増加が見られます。従来のチラシや新聞広告から、PCやスマホの普及により情報収集の仕方に大きな変化があったことがうかがえます。

このことから、本事業の情報発信の中心にはインターネットを活用した広報戦略を置き、特に若い世代を中心とした方々に興味関心を促す試みを実施します。

また、3つの事業の関連性強化と情報の一元化を図るため、SNSを複数駆使し、情報発信を行うだけでなく、ポータルSNSというべき、情報の集約を行うSNS(例ではInstagram)にリンクを貼り、誘導することで、同じ情報がきちんといきわたるような試みを実施します。

情報の拡散には、港区にゆかりのある「インフルエンサー」を起用し、実際の公演の鑑賞からSNSでの感想の発信やGPSを活用したSNS広告などを実施することも検討し、特に事業開始直後の本事業のSNSのフォロワー数の確保などを行い、安定的にかつ、効果的な情報発信ができる仕組みを整えます。

一方、インターネットを活用しない区民も一定数いらっしゃることを考え、従来通りのチラシなどの配架を行うとともに、「広報みなと」を活用させていただき、情報が届かない人がいないような施策も実施します。

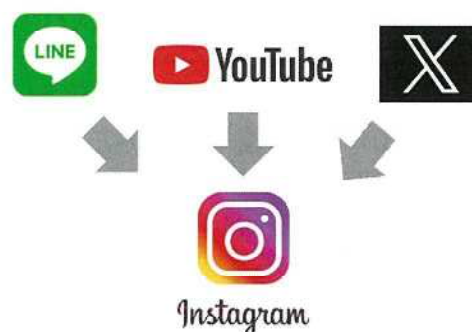


図6: SNSでの情報ルートのイメージ

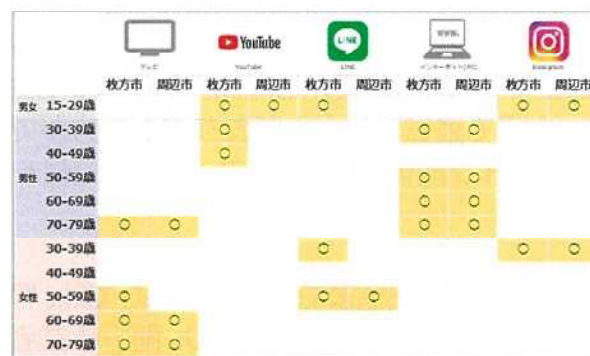


図7: 世代ごとの情報収集ルート(例)



図8: 世代に合わせた広報戦略

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

※文字のポイント数は11pt以上とします。

1 まちなかコンサートの配信に関して

「リアルで鑑賞したらよかった」を伝える臨場感あるアーカイブ配信

新型コロナウイルスの蔓延を受け、加速したコンサートなどの配信は、鑑賞者の好きな時間に好きな場所で鑑賞することができるという気軽さもあり、「港区文化芸術実態調査」でも、直接鑑賞にいたらなかった理由の第2位にあげられるなど、現在の文化芸術の鑑賞方法として、主要な方法となりつつあります。

気軽に鑑賞できる一方で、会場で直接鑑賞したときの会場の空気感、出演者の演奏時の息遣い、周りの鑑賞者との一体感などは、映像ではその魅力をすべて伝えきれないものでもあります。

まちなかコンサートの配信では、アウトリーチ事業のように会場に足を運べない方々へのアプローチももちろん必要ですが、会場に來られなかった鑑賞者が「次は会場に行ってみたい」「直接鑑賞してみたい」という思いを想起させたり、実際に会場に足を運んだ方が見返し、「つぎも鑑賞したい」と手帳を開いて予定を確認したくなるような映像を制作、配信するべきと考えます。

そのための内容として、会場でのコンサートをそのまま流すのではなく、ダイジェスト版として、数曲の演奏と、会場では聴いたり、観たりすることのできない、開演前や終演後の様子や出演者のインタビュー、リハーサルの様子など、コンサート制作の裏側も垣間見れるような内容を盛り込み、会場で鑑賞した人も新たな楽しみ方ができるよう工夫し、ライブ配信ではなく、アーカイブ配信を基本いたします。

収録から編集、配信までの制作に関しては、弊社内にある動画制作の専門チームが携わり、同一事業者内でワンストップで完結することにより、よりメッセージ性の高いまた、臨場感を感じることもできる動画に仕上げます。

また、配信には、前出の専用SNS等を活用いたします。動画でのアーカイブ配信と次回のコンサートの告知が同じ線上にあることで、「次は行きたい」を逃さないように工夫いたします。



撮影



撮影時チェック



編集

図9:専門チームによる
配信までのフローイメージ